

第1学年 生活科 年間指導計画

実施時期	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)	
			(1)知識及び技能の基礎	(2)思考力・判断力・ 表現力等の基礎	(3)学びに向かう力・ 人間性等			
4	(8)(1) 学校と生活 生活や出来事の 伝え合い はじめのいっほ(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうから1ねんせい</li> <li>・がくしゅうのはじまり</li> <li>・がっこうのせいかつ</li> </ul>	入学前に好きだったことや、やったことなどを思い出したり伝え合ったりする活動を通して、小学校生活でやってみたいことを考えたり伝え合ったりすることができ、すでに知っていることや自分でできていることに気づき、期待と安心をもって学校生活を過ごすことができるようにする。	(1)入学前から、すでに知っていることや自分でできていることに気付く。	(2)入学前の経験と比べて、小学校生活でやってみたいことを考えたり伝え合ったりする。	(3)期待と安心をもって、学校生活を過ごそうとする。	【国】 ・おしえてみんなのすきなもの	
5	(1) 学校と生活 わくわくどきどき しょうがっこう しょうがっこう (16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくどきどきしょうがっこう</li> <li>・がっこうをたんけんしよう</li> <li>・なにをかんじたかな</li> <li>・じぶんたちであいこ</li> <li>・もつとたんけんしてみよう</li> <li>・なにをかんじたかな</li> <li>・げんきにすごそう</li> </ul>	学校や通学路を探検する活動を通して、学校の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々がいることに気づき、学校生活はさまざまな人や施設と関わっていること、きまりやマナーを守ると気持ちよく過ごせることがわかり、楽しく安心して学校生活を送ったり、安全な登下校をしたりできるようにする。	(1)学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気づき、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守ってくれている人々を意識して関わる。	(3)学校の施設の様子、学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守ってくれている人々に関心を持ち、楽しく学校生活を送るとともに、安全な登下校をしようとする。	【国】 ・よろしくね ・たのしくかこう ・ほんがたくさん 【道】 ・がっこうだいすき 【学級】 ・みんなでなかよくすごそう ・どうぞよろしく 【学校行事】 ・交通安全教室	・明神たかおさん ・渡邊さん (駐在所) ・年長児(おさがえり)
	(7) 動植物の飼育・栽培 きれいに わたしのはな (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいにさいてねわたしのはな</li> <li>・たねをまこう</li> <li>・まいにちみよう</li> <li>・まいにちせわをしよう</li> <li>・せわをつづけよう</li> <li>・たねとりをしよう</li> <li>・なにをかんじたかな</li> </ul>	アサガオなどの植物を育てる活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、植物への親しみをもち、大切にできるようにする。	(1)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に合った世話の仕方や、植物が同じように生命をもっていることや成長していることに気付く。	(2)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって観察したり関わったりする。	(3)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとする。	【国】 ・こんなことしたよ ・えにつきをかこう 【道】 ・たのしかったハイキング	・JA 高橋さん
6	(6) 自然や物を使った遊び きせつとなかよし はる・なつ (12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きせつとなかよしはる なつ</li> <li>・はるをみつけにいこう</li> <li>・いきものわくわくいず</li> <li>・なつをかんじよう</li> <li>・なにをかんじたかな</li> <li>・にゅうがくしてからをふりかえろう</li> <li>・なつやすみをげんきにすごそう</li> </ul>	春や夏の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、春や夏の特徴や違いを見つけ、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議、野原や公園のきまりを守ることなどに気づき、季節の遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。	(1)春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びのおもしろさや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付く。	(2)春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、春や夏の違いや特徴を見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくる。	(3)春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとする。	【国】 ・こんなことしたよ ・えにつきをかこう ・はなしたいなききたいな 【体育】 ・水あそび 【道】 ・たのしかったハイキング	
7								
9	(7) 動植物の飼育・栽培 きれいに さいてね わたしのはな (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たねとりをしよう</li> <li>・なにをかんじたかな</li> </ul>	アサガオなどの植物を育てる活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、植物への親しみをもち、大切にできるようにする。	(1)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に合った世話の仕方や、植物が同じように生命をもっていることや成長していることに気付く。	(2)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって観察したり関わったりする。	(3)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとする。	【国】 ・こんなことしたよ ・えにつきをかこう ・はなしたいなききたいな 【道】 ・たのしかったハイキング	・JA 高橋さん
9	(7) 動植物の飼育・栽培 なかよくなるうね 小さなともだち (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよくなるうね 小さなともだち</li> <li>・生きものをさがそう</li> <li>・もつとなかよくなりたいね</li> <li>・なにをかんじたかな</li> </ul>	動物や虫などを育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、育てている生きものに合った世話の仕方や、生きものが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、生きものへの親しみをもち、大切にできるようにする。	(1)動物や虫などを育てる活動を通して、生きものに合った世話の仕方や、生きものと同じように生命をもっていることや成長していることに気付く。	(2)動物や虫などを育てる活動を通して、飼育している生きものの変化や成長の様子に関心をもって観察したり関わったりする。	(3)動物や虫などを育てる活動を通して、生きものへの親しみをもち、大切にしようとする。	【国】 ・としよかんはどこ ・はつけんしたよ 【道】 ・ハムスターのあかちゃん	

10 11	きせつとなかよしあき(14) (8)生活や出来事の伝え合い (6)自然や物を使った遊び (5)季節の変化と生活 (4)公共物や公共施設の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きせつとなかよしあき</li> <li>・あきを見つけにいこう</li> <li>・生きものわくわくクイズ</li> <li>・なにをかんじたかな</li> <li>・見つけたあきであそぼう</li> </ul>	<p>秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見つけ、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議、野原や公園のきまりを守ることなどに気付き、季節の遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。</p>	<p>(1)秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びのおもしろさや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付く。</p>	<p>(2)秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくる。</p>	<p>(3)秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとする。</p>	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なにに見えるかな</li> <li>・はっけんしたよ</li> </ul> <p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たのしかったハイキング</li> </ul> <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうりゅうをけいかくしよう</li> <li>・こうりゅうかい</li> </ul> <p>【学校行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者</li> <li>・園児</li> <li>・藤村さん</li> <li>・野瀬さん</li> <li>・水足さん</li> </ul>
12	かぞくにこにこ(10) (9)自分の成長 (8)生活や出来事の伝え合い (2)家庭と生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かぞくにこにこ大きくせん</li> <li>・みんなの1日をきいてみよう</li> <li>・なにをかんじたかな</li> <li>・いえのしごとにちようせん</li> <li>・かぞくにこにこ大きくせんをしよう</li> <li>・なにをかんじたかな</li> <li>・これまでをふりかえろう</li> <li>・ふゆ休みをげん気にすごそう</li> </ul>	<p>家庭生活に関わる活動を通して、家庭での楽しみ、家庭における自分の生活や役割などについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、家族の一員として、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりすることができるようにする。</p>	<p>(1)家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。</p>	<p>(2)家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考える。</p>	<p>(3)家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。</p>	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもしろい出でかこう</li> </ul> <p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おとうさんありがとう</li> </ul> <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふゆやすみのすごしかた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者</li> </ul>
1	きせつとなかよしふゆ(12) (6)自然や物を使った遊び (5)季節の変化と生活 (4)公共物や公共施設の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きせつとなかよしふゆ</li> <li>・ふゆを見つけにいこう</li> <li>・生きものわくわくクイズ</li> <li>・かぜとあそぼう</li> <li>・ゆきやおりであそぼう</li> <li>・なにをかんじたかな</li> </ul>	<p>冬の自然に関わる活動を通して、冬の特徴や春や夏、秋との違いを見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫してつくることができ、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、冬に自然遊びのおもしろさや自然の不思議さ、遊びの準備や後片付けの大切さに気付き、みんなと楽しみながら遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。</p>	<p>(1)冬の自然に関わる活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、冬に自然遊びのおもしろさや自然の不思議さ、遊びの準備や後片付けの大切さに気付く。</p>	<p>(2)冬の自然に関わる活動を通して、冬の特徴や春や夏、秋との違いを見つけたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりする。</p>	<p>(3)冬の自然に関わる活動を通して、や冬の自然を利用した遊びを通して、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。</p>	<p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たのしかったハイキング</li> <li>・にっぽんのぎょうじ</li> </ul> <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふゆ休みのすごしかた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明神りえさん</li> <li>・地域のサロン</li> </ul>
2 3	もうすぐ2ねんせい(14) (9)自分の成長 (8)生活や出来事の伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もうすぐ2年生</li> <li>・あたらしい1年生をむかえよう</li> <li>・1年かんをおもい出そう</li> <li>・なにをかんじたかな</li> </ul>	<p>自分自身の生活や成長を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。</p>	<p>(1)自分自身の生活や成長を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかる。</p>	<p>(2)自分自身の生活や成長を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考える。</p>	<p>(3)自分自身の生活や成長を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。</p>	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校のことをしよかいしよう</li> <li>・1年かんのおもいでブック</li> </ul> <p>【図】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ようこそあたらしい1ねんせい</li> </ul> <p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こくぼんとうぼん</li> <li>・いのちのはじまり</li> <li>・もりのゆうびんやさん</li> </ul> <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日入学にむけて</li> <li>・ありがとうをつたえよう</li> <li>・1年間のしめくくりをしよう</li> <li>・もうすぐ2年生</li> </ul> <p>【学校行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入児体験入学</li> <li>・6年生を送る会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児</li> <li>・お世話になった地域の方</li> </ul>

第2学年 生活科 年間指導計画

実施時期	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)	
			(1)知識及び技能の基礎	(2)思考力・判断力・ 表現力等の基礎	(3)学びに向かう力・ 人間性等			
4	(5)地域と生活 季節の変化と生活 春だ 今日から 2年生(6)	・校でいで春をさがそう ・春のまちを歩こう	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や地域の人や場所の様子を見付け、季節ごとに自然や自分たちの生活が変化していることに気付き、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気をつけて生活しようとするようにする。	(1)春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、季節ごとに自然が変化していることや、季節に応じて自分たちの生活が変化していることに気付く。	(2)春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や特徴を探したり、地域の人や場所の様子を見付けたりすることができる。	(3)春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気をつけて生活しようとする。	【国】 ・かんさつしたことを書こう  【道】 ・はるがいっぱい ・知らない人にも ・「つよいこころ」	
5	(7)動植物の飼育・栽培 ぐんぐん そだて わたしの 野さい (6)	・野さいをそだてよう ・野さいのせわをしよう ・野さいのようすをつたえ合おう	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみを持ち、大切にしようとするようにする。	(1)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付く。	(2)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心を持って働きかけることができる。	(3)植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみを持ち、大切にしようとする。	【国】 ・かんさつしたことを書こう ・サツマイモのそだて方 【算】 ・長さをはかってあらわそう ・あいさつのしかた	・JA 高橋さん ・松岡さん
6	(3)地域と生活 どきどき わくわく まちたんけん (10)	・まちのことを話そう ・たんけんの計画を立てよう ・まちをたんけんをしよう ・見つけたことをつたえ合おう	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分との関わりを見付け、地域にはさまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付くとともに、地域の場所や人に親しみを持ち、適切に接したり、安全に気をつけて生活したりしようとするようにする。	(1)地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付く。	(2)地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けることができる。	(3)地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみを持ち、適切に接したり、安全に気をつけて生活したりしようとする。	【学校行事】 ・交通安全教室	・郵便局 ・谷淵組 ・JA ・あったかふれあいセンター ・池商店 ・フードセンター ・高原スーパー ・郵便局 ・虎太郎像 ・美容室 ・書道教室 ・花音さん ・駐在所
7	(7)動植物の飼育・栽培 生きもの なかよし 大作せん (10)	・生きもののことを話そう ・生きものをさがそう ・生きものをそだてよう ・生きもののことをつたえ合おう	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、生き物への親しみをもって、大切にしようとするようにする。	(1)生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物が成長していることや、生命をもっていることに気付く。	(2)生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。	(3)生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物への親しみをもって、生き物を大切にしようとする。	【音】 ・虫の声  【道】 ・すてきな2年生 ・電車の中で	・石川さんのたんぼ
9	(6)自然や物を使った遊び うごく うごく わたしの おもちゃ (12)	・つくりたいおもちゃをきめよう ・うごくおもちゃをつくらう ・もっとよくうごくおもちゃにしよう ・あそび方をくふうしよう	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。	(1)身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付く。	(2)身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を換えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくることことができる。	(3)身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとする。	【国】 ・あそびかたをせつめいしよう  【道】 ・こんなときどうするのかな  【学校行事】 ・収穫祭	・1年生 ・さくらんぼ園 ・教員
10	(4)公共物や公共施設の利用 みんなであつかう まちのしせつ (6)	・図書かんをつかおう ・図書かんのことを聞いてみよう ・みんなであつかうしせつのことを話し合おう	公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなが使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどが気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようとするようにする。	(1)公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなが使うものがあることや、それらを支えている人々がいることに気付く。	(2)公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりすることができる。	(3)公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切に、正しく安全に利用しようとする。	【学級活動】 ・たくさん本を読もう	・図書館 ・あったかふれあいセンター

10	(3)地域と生活 もっと なかよし まちたんけん (12)	・たんけんの計画を立てよう ・もういちどたんけんに行こう ・見つけたことをしようかいしよう ・まちの人に聞きに行こう ・分かったことを話し合おう	地域の人々に関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関りを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。			【学級活動】 ・なかよし集会 ・たくさん本を読もう	・あつたかふれあいセンター ・図書館 ・高原スーパー ・どんぐり農園 ・グリーン ・高原スーパー ・ガソリンスタンド ・川上縫製工場
11			(1)地域の人々に関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付く。	(2)地域の人々に関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けることができる。	(3)地域の人々に関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとする。		
11	わたしの野さい (4) ぐんぐん そだて	・野さいをしゅうかくしよう	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。			【国】 ・ありがとうをつたえよう	・JA 高橋さん ・野瀬さん
11			(1)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	(2)植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心を持って働きかけることができる。	(3)植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとする。		
12	(8)生活や出来事の伝え合い つながる 広がる わたしの生活 (12)	(3)地域と生活 (4)公共物や公共施設の利用 ・つたえたいなまちのすてき ・もっとくわしくしらべよう ・つたえたいことをまとめよう ・まちのすてきをとどけよう	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かることとともに、進んで触れ合い交流しようとするができるようにする。			【国】 ・この人をしようかいします	・図書館 ・あつたかふれあいセンター ・図書館司書さん ・明神りえさん
12			(1)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付く。	(2)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりすることができる。	(3)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとする。		
1	(9)自分の成長 あしたへジャンプ (27)	・大きくなった自分のことをふりかえろう ・大きくなった自分のことをしらべよう ・自分のことをまとめよう ・ありがとうの気持ちをつたえよう	自分の生活や成長をふりかえる活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするができるようにする。			【国】 ・「ありがとう」をつたえよう 【道】 ・生まれるということ ・こうさとびができた 【学級活動】 ・まとめの集いをけいかくしよう ・まとめの集会	・保護者 ・幼稚園の先生 ・上級生
2			(1)自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付く。	(2)自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けることができる。	(3)自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとする。		
3							

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向かう力・ 人間性等		
4	津野町の自慢(お茶・四万十川源流点・魚)	津野町のじまんって何?(25)	(1)津野町の自慢は何かを自分たちで考え、たくさんある自慢の中から、知りたいことを課題に設定する。 (2)グループごとに、自慢について調べる方法を話し合い、インタビューや現地訪問などを行う。 ※お茶摘み、茶工場の見学、お茶もみを行い、お茶の作り方を知る。(社会科と関連) (3)「お茶」「四万十川源流点」「魚」の3つのグループに分かれ、それぞれ見学や体験で知ったことを整理してまとめる。 (4)津野町の自慢について共有し、お互いの共通点を見つけ、新たな課題を生む。	津野町の自慢について考え、自慢に関わる人の話を聞いたり、自慢の場所に行ってみたりするなどの体験活動を通して、そのよさを理解し、自慢について調べたことや話し合ったことをもとに、自分たちにできることを考えるとともに、行動したり、生活したりできるようにする。	①津野町の自慢の中でも、特に調べたいことの課題を自らつくり、解決に向けて見直しをもっている。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を知る活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②体験や見学を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の自慢に関わる人たちの努力や工夫を伝えるために、自分たちにできることを考え、取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・メモを取りながら聞こう ・書き手の工夫を考えよう  【社】 ・わたしたちのまちと市  【音】 ・茶つみ  【道】 ・気持ちのいいあいさつ  【学級活動】 ・当番の仕事 ・係の仕事	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・道の駅 ・地域の方  【源流点】 ・戸田さん(父・祖父) ・四万十川財団(神田さん)  【魚】 ・豊田さん ・川上さん ・山賊茶屋(中平さん) ・魚族保護会
5			①津野町の自慢に関わる方の努力や工夫について理解する。(知識) ②課題である津野町の自慢を知るために、インタビューや体験活動を行い、調べるなかで、情報整理の技能を身に付ける。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、津野町の自慢についての知識を身につけるために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	津野町の川や山、森林などの自然環境について調べたり、地域の人と関わったりする活動を通して、水環境の保全に尽力(努力や工夫)する人々の取組や、その活動に込められた思いや願いを知り、津野町の自然や産業が水に支えられていることに気付くとともに、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり、行動したりすることができるようにする。	①津野町の自然や地域資源と水との関係に着目し、「おいしさのひみつは何だろうか?」という課題を見出し、解決に向けて見直しをもつ。(課題の設定) ②地域の人の話や体験活動、他地域の情報などから、「おいしさのひみつ」や自然とのつながりに関する情報を、多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりする。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較・分類したりしながら解決に向けて考える。(整理・分析) ④津野町の自然や産業の魅力を「水」という視点でとらえ直し、伝える相手に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現する。(まとめ・表現)	【国】 ・案内の手紙を書こう ・きょうみを持ったことをしようか いしよう  【社】 ・はたらく人とわたしたちの暮らし  【道】 ・ふるさとの味 土佐文 ・公園のひみつ	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・地域の方  【源流点】 ・豊田さん ・戸田さん ・町森林組合  【魚】 ・豊田さん ・魚族保護会  【仁淀川町】 ・大渡ダム ・池川茶園  【いの町】 ・にこ淵 ・長沢小学校	
6			①津野町の自然環境(川・山・森林など)を見つめ、水のきれいさが地域の暮らしや産業と関わっていることを理解する。(知識) ②自分たちの探究テーマに応じて、地域の人への聞き取りや、観察・調査などを適切な方法で行う。(技能) ③津野町の自然の魅力や水の価値に対する自らの認識の高まりは、地域の人や他地域との比較、調査活動などを通して探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	津野町の自慢『おいしさのひみつ』を、より多くの人に広める活動を通して、自分と津野町の自慢の関わりを見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、津野町の自慢を知ってもらうために、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。	①「おいしさの『ひみつ』」を踏まえ、販売活動の中で「どうすれば来場者に分かりやすく伝えられるか」という課題を設定する。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	【国】 ・考えと理由  【社】 ・わたしたちの市の歩み(かわる道具とくらし)  【道】 ・自分たちにできること	【お茶】 ・JA 高橋さん  ・大丸茶舗の三原さん  【源流点】 ・豊田さん  【魚】 ・魚族保護会  <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)	
7			①「おいしさのひみつは何だろうか?」という問いを自分たちで見出し、学習の中心課題として設定する。 (2)津野町の自然環境(山・森林・川)を観察・調査したり、地域の人(魚族保護会・JA・森林組合など)にインタビューしたりして、おいしさのひみつや、自然を守る取組とその思いについて知る。 (3)自分たちで集めた情報や体験をもとに、視点(自然・人の取組・地域の人の思い)ごとに整理する。 津野町と他地域の情報を比べ、共通点と違いを見つけ、おいしさを支える要因を多面的に考える。 (4)調べてきたことを振り返り、おいしさのひみつや水のきれいな理由、それを支える自然・人々の取組をまとめる。	津野町の自慢『おいしさのひみつ』を、より多くの人に広める活動を通して、自分と津野町の自慢の関わりを見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、津野町の自慢を知ってもらうために、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。	①JAや茶園の人の話から販売やPRの工夫について理解する。(知識) ②話し方や接客の仕方を工夫して、「おいしさの『ひみつ』」を相手に分かりやすく伝える。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、そのよさをより広めようとするために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を広める活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②販売活動や発信活動などの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・考えと理由  【社】 ・わたしたちの市の歩み(かわる道具とくらし)  【道】 ・自分たちにできること	【お茶】 ・JA 高橋さん  ・大丸茶舗の三原さん  【源流点】 ・豊田さん  【魚】 ・魚族保護会  <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)
9	おいしさの『ひみつ』は?津野町と他の町をくらべて(25)	きれいな水と森林に関わる産業や保全に関わる人々の思い	(1)「おいしさのひみつは何だろうか?」という問いを自分たちで見出し、学習の中心課題として設定する。 (2)津野町の自然環境(山・森林・川)を観察・調査したり、地域の人(魚族保護会・JA・森林組合など)にインタビューしたりして、おいしさのひみつや、自然を守る取組とその思いについて知る。 (3)自分たちで集めた情報や体験をもとに、視点(自然・人の取組・地域の人の思い)ごとに整理する。 津野町と他地域の情報を比べ、共通点と違いを見つけ、おいしさを支える要因を多面的に考える。 (4)調べてきたことを振り返り、おいしさのひみつや水のきれいな理由、それを支える自然・人々の取組をまとめる。	津野町の川や山、森林などの自然環境について調べたり、地域の人と関わったりする活動を通して、水環境の保全に尽力(努力や工夫)する人々の取組や、その活動に込められた思いや願いを知り、津野町の自然や産業が水に支えられていることに気付くとともに、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり、行動したりすることができるようにする。	①津野町の自然や地域資源と水との関係に着目し、「おいしさのひみつは何だろうか?」という課題を見出し、解決に向けて見直しをもつ。(課題の設定) ②地域の人の話や体験活動、他地域の情報などから、「おいしさのひみつ」や自然とのつながりに関する情報を、多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりする。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較・分類したりしながら解決に向けて考える。(整理・分析) ④津野町の自然や産業の魅力を「水」という視点でとらえ直し、伝える相手に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現する。(まとめ・表現)	【国】 ・案内の手紙を書こう ・きょうみを持ったことをしようか いしよう  【社】 ・はたらく人とわたしたちの暮らし  【道】 ・ふるさとの味 土佐文 ・公園のひみつ	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・地域の方  【源流点】 ・豊田さん ・戸田さん ・町森林組合  【魚】 ・豊田さん ・魚族保護会  【仁淀川町】 ・大渡ダム ・池川茶園  【いの町】 ・にこ淵 ・長沢小学校	
10			①津野町の自然環境(川・山・森林など)を見つめ、水のきれいさが地域の暮らしや産業と関わっていることを理解する。(知識) ②自分たちの探究テーマに応じて、地域の人への聞き取りや、観察・調査などを適切な方法で行う。(技能) ③津野町の自然の魅力や水の価値に対する自らの認識の高まりは、地域の人や他地域との比較、調査活動などを通して探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	津野町の自慢『おいしさのひみつ』を、より多くの人に広める活動を通して、自分と津野町の自慢の関わりを見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、津野町の自慢を知ってもらうために、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。	①「おいしさの『ひみつ』」を踏まえ、販売活動の中で「どうすれば来場者に分かりやすく伝えられるか」という課題を設定する。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を広める活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②販売活動や発信活動などの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・考えと理由  【社】 ・わたしたちの市の歩み(かわる道具とくらし)  【道】 ・自分たちにできること	【お茶】 ・JA 高橋さん  ・大丸茶舗の三原さん  【源流点】 ・豊田さん  【魚】 ・魚族保護会  <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)
11			①「おいしさのひみつは何だろうか?」という問いを自分たちで見出し、学習の中心課題として設定する。 (2)津野町の自然環境(山・森林・川)を観察・調査したり、地域の人(魚族保護会・JA・森林組合など)にインタビューしたりして、おいしさのひみつや、自然を守る取組とその思いについて知る。 (3)自分たちで集めた情報や体験をもとに、視点(自然・人の取組・地域の人の思い)ごとに整理する。 津野町と他地域の情報を比べ、共通点と違いを見つけ、おいしさを支える要因を多面的に考える。 (4)調べてきたことを振り返り、おいしさのひみつや水のきれいな理由、それを支える自然・人々の取組をまとめる。	津野町の自慢『おいしさのひみつ』を、より多くの人に広める活動を通して、自分と津野町の自慢の関わりを見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、津野町の自慢を知ってもらうために、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。	①JAや茶園の人の話から販売やPRの工夫について理解する。(知識) ②話し方や接客の仕方を工夫して、「おいしさの『ひみつ』」を相手に分かりやすく伝える。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、そのよさをより広めようとするために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を広める活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②販売活動や発信活動などの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・考えと理由  【社】 ・わたしたちの市の歩み(かわる道具とくらし)  【道】 ・自分たちにできること	【お茶】 ・JA 高橋さん  ・大丸茶舗の三原さん  【源流点】 ・豊田さん  【魚】 ・魚族保護会  <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)
12			①「おいしさのひみつは何だろうか?」という問いを自分たちで見出し、学習の中心課題として設定する。 (2)津野町の自然環境(山・森林・川)を観察・調査したり、地域の人(魚族保護会・JA・森林組合など)にインタビューしたりして、おいしさのひみつや、自然を守る取組とその思いについて知る。 (3)自分たちで集めた情報や体験をもとに、視点(自然・人の取組・地域の人の思い)ごとに整理する。 津野町と他地域の情報を比べ、共通点と違いを見つけ、おいしさを支える要因を多面的に考える。 (4)調べてきたことを振り返り、おいしさのひみつや水のきれいな理由、それを支える自然・人々の取組をまとめる。	津野町の自慢『おいしさのひみつ』を、より多くの人に広める活動を通して、自分と津野町の自慢の関わりを見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、津野町の自慢を知ってもらうために、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。	①JAや茶園の人の話から販売やPRの工夫について理解する。(知識) ②話し方や接客の仕方を工夫して、「おいしさの『ひみつ』」を相手に分かりやすく伝える。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、そのよさをより広めようとするために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を広める活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②販売活動や発信活動などの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・考えと理由  【社】 ・わたしたちの市の歩み(かわる道具とくらし)  【道】 ・自分たちにできること	【お茶】 ・JA 高橋さん  ・大丸茶舗の三原さん  【源流点】 ・豊田さん  【魚】 ・魚族保護会  <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)
1	自然大好き! つのつ子未来ほごプロジェクト(20)	(1)「とさのさと」や「産業祭」でのお茶販売の中で、津野町の魅力をどうすれば来場者に分かりやすく伝えられるかを課題として設定する。 (2)JAや茶園の人に販売方法やPRの工夫を聞いたり、販売の様子を調べたりして、発信に向けた必要な情報を収集する。 (3)販売に必要な方法や工夫を取捨選択し、どのように伝えるかを考えながら、パッケージや看板のデザインを検討する。 (4)パッケージや看板を制作して販売準備を整え、実際にお茶販売と発信活動を行う。	津野町の自慢『おいしさのひみつ』を、より多くの人に広める活動を通して、自分と津野町の自慢の関わりを見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、津野町の自慢を知ってもらうために、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。	①「おいしさの『ひみつ』」を踏まえ、販売活動の中で「どうすれば来場者に分かりやすく伝えられるか」という課題を設定する。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を広める活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②販売活動や発信活動などの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・考えと理由  【社】 ・わたしたちの市の歩み(かわる道具とくらし)  【道】 ・自分たちにできること	【お茶】 ・JA 高橋さん  ・大丸茶舗の三原さん  【源流点】 ・豊田さん  【魚】 ・魚族保護会  <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)	
2		①「とさのさと」や「産業祭」でのお茶販売の中で、津野町の魅力をどうすれば来場者に分かりやすく伝えられるかを課題として設定する。 (2)JAや茶園の人に販売方法やPRの工夫を聞いたり、販売の様子を調べたりして、発信に向けた必要な情報を収集する。 (3)販売に必要な方法や工夫を取捨選択し、どのように伝えるかを考えながら、パッケージや看板のデザインを検討する。 (4)パッケージや看板を制作して販売準備を整え、実際にお茶販売と発信活動を行う。	津野町の自慢『おいしさのひみつ』を、より多くの人に広める活動を通して、自分と津野町の自慢の関わりを見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、津野町の自慢を知ってもらうために、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。	①JAや茶園の人の話から販売やPRの工夫について理解する。(知識) ②話し方や接客の仕方を工夫して、「おいしさの『ひみつ』」を相手に分かりやすく伝える。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、そのよさをより広めようとするために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を広める活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②販売活動や発信活動などの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・考えと理由  【社】 ・わたしたちの市の歩み(かわる道具とくらし)  【道】 ・自分たちにできること	【お茶】 ・JA 高橋さん  ・大丸茶舗の三原さん  【源流点】 ・豊田さん  【魚】 ・魚族保護会  <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)	
3		①「とさのさと」や「産業祭」でのお茶販売の中で、津野町の魅力をどうすれば来場者に分かりやすく伝えられるかを課題として設定する。 (2)JAや茶園の人に販売方法やPRの工夫を聞いたり、販売の様子を調べたりして、発信に向けた必要な情報を収集する。 (3)販売に必要な方法や工夫を取捨選択し、どのように伝えるかを考えながら、パッケージや看板のデザインを検討する。 (4)パッケージや看板を制作して販売準備を整え、実際にお茶販売と発信活動を行う。	津野町の自慢『おいしさのひみつ』を、より多くの人に広める活動を通して、自分と津野町の自慢の関わりを見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、津野町の自慢を知ってもらうために、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。	①JAや茶園の人の話から販売やPRの工夫について理解する。(知識) ②話し方や接客の仕方を工夫して、「おいしさの『ひみつ』」を相手に分かりやすく伝える。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、そのよさをより広めようとするために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を広める活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②販売活動や発信活動などの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・考えと理由  【社】 ・わたしたちの市の歩み(かわる道具とくらし)  【道】 ・自分たちにできること	【お茶】 ・JA 高橋さん  ・大丸茶舗の三原さん  【源流点】 ・豊田さん  【魚】 ・魚族保護会  <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)	

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向かう力・ 人間性等		
4	津野町の自慢(お茶・四万十川源流点・魚)	津野町のじまんって何?(25)	(1)津野町の自慢は何かを自分たちで考え、たくさんある自慢の中から、知りたいことを課題に設定する。 (2)グループごとに、自慢について調べる方法を話し合い、インタビューや現地訪問などを行う。 ※お茶摘み、茶工場の見学、お茶もみを行い、お茶の作り方を知る。(社会科と関連) (3)「お茶」「四万十川源流点」「魚」の3つのグループに分かれ、それぞれ見学や体験で知ったことを整理してまとめる。 (4)津野町の自慢について共有し、お互いの共通点を見つけ、新たな課題を生む。	津野町の自慢について考え、自慢に関わる人の話を聞いたり、自慢の場所に行ってみたりするなどの体験活動を通して、そのよさを理解し、自慢について調べたことや話し合ったことをもとに、自分たちにできることを考えるとともに、行動したり、生活したりできるようにする。	①津野町の自慢の中での、特に調べたいことの課題を自らつくり、解決に向けて見直しをもっている。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を知る活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②体験や見学を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の自慢に関わる人たちの努力や工夫を伝えるために、自分たちにできることを考え、取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	・話を聞いて質問しよう 【社】 ・ごみはどこへ ・水はどこから 【理】 ・季節と生き物 【道】 ・命をつなぐ岬	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・道の駅 ・地域の方 【源流点】 ・戸田さん(父・祖父) ・四万十川財団(神田さん) 【魚】 ・豊田さん ・川上さん ・山賊茶屋(中平さん) ・魚族保護会
5			①津野町の自慢に関わる方の努力や工夫について理解する。(知識) ②課題である津野町の自慢を知るために、インタビューや体験活動を行い、調べるなかで、情報整理の技能を身に付ける。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、津野町の自慢についての知識を身につけるために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①津野町の自慢の中での、特に調べたいことの課題を自らつくり、解決に向けて見直しをもっている。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を知る活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②体験や見学を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の自慢に関わる人たちの努力や工夫を伝えるために、自分たちにできることを考え、取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	・話を聞いて質問しよう 【社】 ・ごみはどこへ ・水はどこから 【理】 ・季節と生き物 【道】 ・命をつなぐ岬	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・道の駅 ・地域の方 【源流点】 ・戸田さん(父・祖父) ・四万十川財団(神田さん) 【魚】 ・豊田さん ・川上さん ・山賊茶屋(中平さん) ・魚族保護会	
6			①津野町の自慢に関わる方の努力や工夫について理解する。(知識) ②課題である津野町の自慢を知るために、インタビューや体験活動を行い、調べるなかで、情報整理の技能を身に付ける。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、津野町の自慢についての知識を身につけるために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①津野町の自慢の中での、特に調べたいことの課題を自らつくり、解決に向けて見直しをもっている。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を知る活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②体験や見学を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の自慢に関わる人たちの努力や工夫を伝えるために、自分たちにできることを考え、取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	・話を聞いて質問しよう 【社】 ・ごみはどこへ ・水はどこから 【理】 ・季節と生き物 【道】 ・命をつなぐ岬	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・道の駅 ・地域の方 【源流点】 ・戸田さん(父・祖父) ・四万十川財団(神田さん) 【魚】 ・豊田さん ・川上さん ・山賊茶屋(中平さん) ・魚族保護会	
7			①津野町の自慢に関わる方の努力や工夫について理解する。(知識) ②課題である津野町の自慢を知るために、インタビューや体験活動を行い、調べるなかで、情報整理の技能を身に付ける。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、津野町の自慢についての知識を身につけるために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①津野町の自慢の中での、特に調べたいことの課題を自らつくり、解決に向けて見直しをもっている。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を知る活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②体験や見学を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の自慢に関わる人たちの努力や工夫を伝えるために、自分たちにできることを考え、取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	・話を聞いて質問しよう 【社】 ・ごみはどこへ ・水はどこから 【理】 ・季節と生き物 【道】 ・命をつなぐ岬	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・道の駅 ・地域の方 【源流点】 ・戸田さん(父・祖父) ・四万十川財団(神田さん) 【魚】 ・豊田さん ・川上さん ・山賊茶屋(中平さん) ・魚族保護会	
9	津野町の自慢(お茶・四万十川源流点・魚)	おいしさの『ひみつ』は? 津野町と他の町をくらべて(25)	(1)「おいしさのひみつは何だろう?」という問いを自分たちで見出し、学習の中心課題として設定する。 (2)津野町の自然環境(山・森林・川)を観察・調査したり、地域の人(魚族保護会・JA・森林組合など)にインタビューしたりして、おいしさのひみつや、自然を守る取組とその思いについて知る。 (3)自分たちで集めた情報や体験をもとに、視点(自然・人の取組・地域の人の思い)ごとに整理する。 津野町と他地域の情報を比べ、共通点と違いを見つけ、おいしさを支える要因を多面的に考える。 (4)調べてきたことを振り返り、おいしさのひみつや水のきれいな理由、それを支える自然・人々の取組をまとめる。	津野町の川や山、森林などの自然環境について調べたり、地域の人と関わったりする活動を通して、水環境の保全に尽力(努力や工夫)する人々の取組や、その活動に込められた思いや願いを知り、津野町の自然や産業が水に支えられていることに気付くとともに、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり、行動したりすることができるようにする。	①津野町の自然環境(川・山・森林など)を見つめ、水のきれいさが地域の暮らしや産業と関わっていることを理解する。(知識) ②自分たちの探究テーマに応じて、地域の人への聞き取りや、観察・調査などを適切な方法で行う。(技能) ③津野町の自然の魅力や水の価値に対する自らの認識の高まりは、地域の人や他地域との比較、調査活動などを通して探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①自然の調査や地域の人との関わりを通して得た知識や、自分とは異なる友達の考えを受け止めながら、探究活動に主体的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②調査や体験活動の中で、仲間と役割を分担したり、意見を交換したりしながら、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の自然や水の価値についての理解を深める中で、「この自然を大切にしたい」「水を守るために何かできないか」と感じ、自分たちにできることを考え、行動に移そうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・お願いやお礼の手紙を書く ・「和と洋新聞」を作ろう 【社】 ・自然災害にそなえるまちづくり ・昔から今へと続くまちづくり 【理】 ・雨水と地面 ・水のすがたの変化 ・水のゆくえ 【道】 ・このままにしていたら ・琵琶湖のごみ拾い	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・地域の方 【源流点】 ・豊田さん ・戸田さん ・町森林組合 【魚】 ・豊田さん ・魚族保護会 【仁淀川町】 ・大渡ダム ・池川茶園 【いの町】 ・にこ淵 ・長沢小学校
10			①津野町の自然環境(川・山・森林など)を見つめ、水のきれいさが地域の暮らしや産業と関わっていることを理解する。(知識) ②自分たちの探究テーマに応じて、地域の人への聞き取りや、観察・調査などを適切な方法で行う。(技能) ③津野町の自然の魅力や水の価値に対する自らの認識の高まりは、地域の人や他地域との比較、調査活動などを通して探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①津野町の自然や地域資源と水との関係に着目し、「おいしさのひみつは何だろう?」という課題を見出し、解決に向けて見直しをもつ。(課題の設定) ②地域の人の話や体験活動、他地域の情報などから、「おいしさのひみつ」や自然とのつながりに関する情報を、多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりする。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較・分類したりしながら解決に向けて考える。(整理・分析) ④津野町の自然や産業の魅力を「水」という視点でとらえ直し、伝える相手に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現する。(まとめ・表現)	①自然の調査や地域の人との関わりを通して得た知識や、自分とは異なる友達の考えを受け止めながら、探究活動に主体的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②調査や体験活動の中で、仲間と役割を分担したり、意見を交換したりしながら、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の自然や水の価値についての理解を深める中で、「この自然を大切にしたい」「水を守るために何かできないか」と感じ、自分たちにできることを考え、行動に移そうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・お願いやお礼の手紙を書く ・「和と洋新聞」を作ろう 【社】 ・自然災害にそなえるまちづくり ・昔から今へと続くまちづくり 【理】 ・雨水と地面 ・水のすがたの変化 ・水のゆくえ 【道】 ・このままにしていたら ・琵琶湖のごみ拾い	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・地域の方 【源流点】 ・豊田さん ・戸田さん ・町森林組合 【魚】 ・豊田さん ・魚族保護会 【仁淀川町】 ・大渡ダム ・池川茶園 【いの町】 ・にこ淵 ・長沢小学校	
11			①津野町の自然環境(川・山・森林など)を見つめ、水のきれいさが地域の暮らしや産業と関わっていることを理解する。(知識) ②自分たちの探究テーマに応じて、地域の人への聞き取りや、観察・調査などを適切な方法で行う。(技能) ③津野町の自然の魅力や水の価値に対する自らの認識の高まりは、地域の人や他地域との比較、調査活動などを通して探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①津野町の自然や地域資源と水との関係に着目し、「おいしさのひみつは何だろう?」という課題を見出し、解決に向けて見直しをもつ。(課題の設定) ②地域の人の話や体験活動、他地域の情報などから、「おいしさのひみつ」や自然とのつながりに関する情報を、多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりする。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較・分類したりしながら解決に向けて考える。(整理・分析) ④津野町の自然や産業の魅力を「水」という視点でとらえ直し、伝える相手に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現する。(まとめ・表現)	①自然の調査や地域の人との関わりを通して得た知識や、自分とは異なる友達の考えを受け止めながら、探究活動に主体的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②調査や体験活動の中で、仲間と役割を分担したり、意見を交換したりしながら、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の自然や水の価値についての理解を深める中で、「この自然を大切にしたい」「水を守るために何かできないか」と感じ、自分たちにできることを考え、行動に移そうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・お願いやお礼の手紙を書く ・「和と洋新聞」を作ろう 【社】 ・自然災害にそなえるまちづくり ・昔から今へと続くまちづくり 【理】 ・雨水と地面 ・水のすがたの変化 ・水のゆくえ 【道】 ・このままにしていたら ・琵琶湖のごみ拾い	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・地域の方 【源流点】 ・豊田さん ・戸田さん ・町森林組合 【魚】 ・豊田さん ・魚族保護会 【仁淀川町】 ・大渡ダム ・池川茶園 【いの町】 ・にこ淵 ・長沢小学校	
12			①津野町の自然環境(川・山・森林など)を見つめ、水のきれいさが地域の暮らしや産業と関わっていることを理解する。(知識) ②自分たちの探究テーマに応じて、地域の人への聞き取りや、観察・調査などを適切な方法で行う。(技能) ③津野町の自然の魅力や水の価値に対する自らの認識の高まりは、地域の人や他地域との比較、調査活動などを通して探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①津野町の自然や地域資源と水との関係に着目し、「おいしさのひみつは何だろう?」という課題を見出し、解決に向けて見直しをもつ。(課題の設定) ②地域の人の話や体験活動、他地域の情報などから、「おいしさのひみつ」や自然とのつながりに関する情報を、多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりする。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較・分類したりしながら解決に向けて考える。(整理・分析) ④津野町の自然や産業の魅力を「水」という視点でとらえ直し、伝える相手に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現する。(まとめ・表現)	①自然の調査や地域の人との関わりを通して得た知識や、自分とは異なる友達の考えを受け止めながら、探究活動に主体的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②調査や体験活動の中で、仲間と役割を分担したり、意見を交換したりしながら、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の自然や水の価値についての理解を深める中で、「この自然を大切にしたい」「水を守るために何かできないか」と感じ、自分たちにできることを考え、行動に移そうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・お願いやお礼の手紙を書く ・「和と洋新聞」を作ろう 【社】 ・自然災害にそなえるまちづくり ・昔から今へと続くまちづくり 【理】 ・雨水と地面 ・水のすがたの変化 ・水のゆくえ 【道】 ・このままにしていたら ・琵琶湖のごみ拾い	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん ・満点の星 ・地域の方 【源流点】 ・豊田さん ・戸田さん ・町森林組合 【魚】 ・豊田さん ・魚族保護会 【仁淀川町】 ・大渡ダム ・池川茶園 【いの町】 ・にこ淵 ・長沢小学校	
1	自然大好き! つのつ子未来ほごプロジェクト(20)	(1)「とさのさと」や「産業祭」でのお茶販売の中で、津野町の魅力をどうすれば来場者に分かりやすく伝えられるかを課題として設定する。 (2)JAや茶園の人に販売方法やPRの工夫を聞いたり、販売の様子を調べたりして、発信に向けた必要な情報を収集する。 (3)販売に必要な方法や工夫を取捨選択し、どのように伝えるかを考えながら、パッケージや看板のデザインを検討する。 (4)パッケージや看板を制作して販売準備を整え、実際にお茶販売と発信活動を行う。	津野町の自慢『おいしさのひみつ』を、より多くの人に広める活動を通して、自分と津野町の自慢の関わりを見つめ直し、そのよさや魅力を理解し、津野町の自慢を知ってもらうために、地域の一員として自分たちにできることを考え、自分と地域との関わりを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。	①JAや茶園の人の話から販売やPRの工夫について理解する。(知識) ②話し方や接客の仕方を工夫して、「おいしさの『ひみつ』」を相手に分かりやすく伝える。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、そのよさをより広めようとするために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①「おいしさの『ひみつ』」を踏まえ、販売活動の中で「どうすれば来場者に分かりやすく伝えられるか」という課題を設定する。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を広める活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②販売活動や発信活動などの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・調べたことをぼうこくしよう 【社】 ・わたしたちの県のまちづくり 【理】 ・生き物の1年 【道】 ・祭りだいこ	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん 【源流点】 ・豊田さん 【魚】 ・魚族保護会 <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)
2		①JAや茶園の人に販売方法やPRの工夫を聞いたり、販売の様子を調べたりして、発信に向けた必要な情報を収集する。 (3)販売に必要な方法や工夫を取捨選択し、どのように伝えるかを考えながら、パッケージや看板のデザインを検討する。 (4)パッケージや看板を制作して販売準備を整え、実際にお茶販売と発信活動を行う。	①JAや茶園の人の話から販売やPRの工夫について理解する。(知識) ②話し方や接客の仕方を工夫して、「おいしさの『ひみつ』」を相手に分かりやすく伝える。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、そのよさをより広めようとするために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①「おいしさの『ひみつ』」を踏まえ、販売活動の中で「どうすれば来場者に分かりやすく伝えられるか」という課題を設定する。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を広める活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②販売活動や発信活動などの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・調べたことをぼうこくしよう 【社】 ・わたしたちの県のまちづくり 【理】 ・生き物の1年 【道】 ・祭りだいこ	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん 【源流点】 ・豊田さん 【魚】 ・魚族保護会 <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)	
3		①JAや茶園の人に販売方法やPRの工夫を聞いたり、販売の様子を調べたりして、発信に向けた必要な情報を収集する。 (3)販売に必要な方法や工夫を取捨選択し、どのように伝えるかを考えながら、パッケージや看板のデザインを検討する。 (4)パッケージや看板を制作して販売準備を整え、実際にお茶販売と発信活動を行う。	①JAや茶園の人の話から販売やPRの工夫について理解する。(知識) ②話し方や接客の仕方を工夫して、「おいしさの『ひみつ』」を相手に分かりやすく伝える。(技能) ③津野町の自慢に関する知識の深まりは、そのよさをより広めようとするために探究的に学習してきたことによる成果であると気付く。(探究的な学習のよさの理解)	①「おいしさの『ひみつ』」を踏まえ、販売活動の中で「どうすれば来場者に分かりやすく伝えられるか」という課題を設定する。(課題の設定) ②課題を解決するために、様々な方法の中から、手段を選び、必要な情報を収集することができる。(情報の収集) ③集めた情報を比較、分類し、関係づけたりしながら、課題の解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④伝える相手や場面に応じて、適切なまとめ方を考え、工夫してまとめ、表現することができる。(まとめ・表現)	①課題の解決に向けた活動を通して、自分の身の回りの地域を見つめ直し、そのよさを実感し、自慢を広める活動に積極的に取り組もうとする。(自己理解・他者理解) ②販売活動や発信活動などの体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・調べたことをぼうこくしよう 【社】 ・わたしたちの県のまちづくり 【理】 ・生き物の1年 【道】 ・祭りだいこ	【お茶】 ・JA 高橋さん ・大丸茶舗の三原さん 【源流点】 ・豊田さん 【魚】 ・魚族保護会 <販売> ・とさのさと(JA) ・町産業祭(産業課)	

第5学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)	
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向かう力・ 人間性等			
4	津野町の特色ある場所や伝統文化における魅力の発信	知らない津野町、知りたい津野町を見つけよう！(25)	(1)今までの学習や経験から津野町について知っていることを出し合い、津野町のPR動画などを見て、知らないことがあることに気づき、知りたいことを考えて、課題を設定する。	津野町の特色ある場所や伝統文化等について調べる活動を通して、それらに関わる地域の人達の工夫や努力、思いを理解し、地域が大切にしている「人・もの・こと」が、自分たちの生活と深く関わっていることに気づき、地域の一員として、自分たちにできることを考えたり、行動したりすることができる。	①津野町で継承・発展されてきた特色ある場所や伝統文化等との関わりを通して感じた自分たちの関心をもとに課題を設定し、解決の見通しをもって、計画を立てている。 (課題の設定)	①課題の解決に向けた活動を通して、津野町のよさや地域活性化に取り組む人たちがいることに気づき、探究活動に進んで取り組もうとしている。 (自己理解・他者理解)	【国】 ・知りたいことを聞き出そう ・地域のみによくを伝えよう	・保護者の皆さん ・田中学芸員さん	
5			(2)設定した課題について、保護者やインターネット等から情報を収集し、より詳しく知るためにインタビューや見学を行う。	②津野町の特色ある場所や伝統文化等に関わる人達の工夫や努力、思いを知るためにその人たちの実際の活動を見たり、体験したりする中で、より深く知りたいことをインタビューするなど、情報収集の技能を身に付けている。 (知識)	②地域の方へのインタビューや見学の体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して学び合おうとしている。 (主体性・協働性)	【社】 ・国土の気候と地域の特色	・熊田光男さん		
6			(3)収集した情報を整理し、新たに疑問に思ったことを調べたり、分かっていたことを分析したりする。	③津野町の特色ある場所や伝統文化等に関する知識の深まりは、地域の人、もの、ことと関わりながら探究的に学習してきたことによる成果であると気付いている。 (技能)	③自分と津野町の地域の人たちのつながりに気づき、自分たちにできることを考え、取り組もうとしている。 (将来展望・社会参画)	【道徳】 ・よさこいソーラン祭り ・お父さんのすがたから	・戸田卓夫さん ・嶋崎義豊さん		
7			(4)分析したことから、地域の人の思いに共通点があることに気づき、小単元2の課題につなげる。	④活動を通して学んだ地域の特色ある場所や伝統文化に関する内容や地域のために自分たちのできることをまとめ、表現している。 (まとめ・表現)		・野波範英さん ・谷脇幸秀さん			
9			受け継ごう！津野町の人々の思い(30)	(1)小単元1を振り返り、「津野町の人々の思いを受け継ぐとは、どういうことか」という課題を設定し、2学期の学習の関心を高める。	津野町の特色ある場所や伝統文化が継承・発展してきた背景について調べる活動を通して、それらに関わっている人たちの工夫や努力、地域への思いを理解し、これからの津野町について考え、自分たちが地域の人達の思いを受け継ぐとはどういうことか、できることは何かを考えることができる。	①津野町で継承・発展されてきた特色ある場所や伝統文化等との関わりを通して感じた自分たちの関心をもとに課題を設定し、解決の見通しをもって、計画を立てている。 (課題の設定)	①課題の解決に向けた活動を通して、地域の人達の地域に対する思いに気づき、自分たちが地域の担い手であることを認識して、探究活動に進んで取り組もうとしている。 (自己理解・他者理解)	【国】 ・和の文化を受け継ぐ	・熊田光男さん
10				(2)小単元1で関わった人達や、津野町の様々な人達がどのような思いを持っているか情報を収集する。	②津野町の特色ある場所や伝統文化等に関わる人達の工夫や努力、思いをより詳しく知るためにその人たちの実際の活動を見たり、体験したりする中で、より深く知りたいことをインタビューするなど、情報収集の技能を身に付けている。 (知識)	②地域の方へのインタビューや見学の体験を通して、課題の解決に向けて、友達と協働して学び合おうとしている。 (主体性・協働性)	・和の文化を発信しよう	・戸田卓夫さん	
11				(3)調査結果を整理したり、分析したりして、自分たちにできることは何か考える。	③津野町の特色ある場所や伝統文化等に関する知識の深まりや思いを受け継ごうとする気持ちは、地域の人、もの、ことと関わりながら探究的に学習してきたことによる成果であると気付いている。 (技能)	③自分と津野町の地域の人たちのつながりに気づき、自分たちにできることを考え、取り組もうとしている。 (将来展望・社会参画)	【道】 ・おじいちゃんのばち	・嶋崎義豊さん	
12	(4)地域の人の思いを受け継ぐために自分たちができることを実現する方法を具体的に考えて計画をまとめる。	④活動を通して学んだ地域の特色ある場所や伝統文化に関する内容や地域のために自分たちのできることをまとめ、表現している。 (まとめ・表現)			・公益のために生きる～渋沢栄一～	・野波範英さん			
1	やってみよう！自分たちにできること(15)	やってみよう！自分たちにできること(15)	(1)小単元2を振り返り、「思いを受け継ぎ、自分たちにできることを実行する」という課題を設定し、3学期の学習の関心を高める。	津野町の人々の思いを受け継ぐために地域の人々と深く関わる活動を通して、津野町の伝統文化や思いを未来に伝えていくためには、工夫が必要であることを理解し、効果的な発信方法を考えるとともに、自分たちが地域の一員であることを再認識することができる。	①津野町の人々の思いを発信する手段について調べ、発信する相手に合った手段を選ぶことができる。 (知識)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようしたりする。 (自己理解・他者理解)	【国語】 ・資料を見て、考えたことを話そう 【算数】 ・割合をグラフに表して調べよう	・中央小児童	
2			(2)情報発信の手段について調べる。	②発信する際に必要な人との関わり方(声掛け・態度など)やICT機器の技能を身につける。 (技能)	②町内外の人と関わる活動の中で、他者と協働して活動に参加しようとする。 (主体性・協働性)	【社】 ・未来とつながる情報	・地域の方		
3			(3)情報を発信したい相手にあった発信の方法を整理・分析して、決定する。	③地域の人々の思いを発信したいと思う気持ちは、津野町について探究的に学習してきたことの結果であると気付く。 (探究的な学習のよさの理解)	③自分たちにできる発信方法を見出し、どのようにアピールすれば相手に伝わるか考えることができる。 (整理・分析)	【図】 ・動いてクレイアニメーション	・保護者		
3		(4)地域に人々の思いを発信し、今の津野町を未来に繋げて行くために、これから自分たちにできることや地域の活性化に繋がることに目を向ける。	④学んだことを町内外の人に知らせることで、残したいものや思いを発信する。 (まとめ・表現)	④探究的な活動を通して、津野町の人達の思いや未来に残したいものを伝えることで、自分と地域の関わりを再認識し、地域のためにできることを考え取り組もうとする。 (将来展望・社会参画)	【道】 ・おじいちゃんのばち ・世界に響く伝統の音	・町外の方			

第6学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)	
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向かう力・ 人間性等			
4	東津野地域の産業と産業に関わる人々の思い	北川川の鮎の魅力を発信しよう！ (27)	(1)津野町の産業の実態や課題を知り、探究課題を設定する。 (2)津野町における北川川の鮎に関する情報や津野町の有名なスポットの情報を収集する。 (3)タブレット端末を用いて津野町のよさや魅力について、チラシやクイズ等で整理し、考察する。 (4)どのようにすれば津野町の魅力を高め、広めることができることを考える。	こうち天然あゆまつりへの出展に向け、これまで学習してきた北川川の鮎に関する情報を、クイズや料理、チラシにする活動を通して、津野町の知名度を高め、広めるために自分たちにできることを考えるとともに、自分と地域の関わりを考えながら生活したり、行動したりすることができるようにする。	①津野町の魅力や課題から得た情報を結び付け、複雑な問題状況の中から課題を発見し設定することができる。(課題の設定) ②津野町の知名度や来訪者数の実態や課題を把握するために、手段を選択して多様な方法で収集したりすることができる。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④津野町の魅力を高め、広めるために自分たちにできることを考え、伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現することができる。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしたりする。(自己理解・他者理解) ②こうち天然あゆ祭りなどの活動を通して、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③津野町の魅力を高め、広めるために自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・場面に応じた言葉づかい 【道】 ・礼儀作法と茶道 【学級】 ・挨拶とマナー ・卒業式で自分の夢を伝えよう	・魚族保護会(豊田さん) ・白竜湖(野波さん) ・フォレストアドベンチャー(谷脇さん) 津野町役場 ・観光推進課(高橋さん) ・婦人会(古味さん)(上岡さん)(大崎さん) ・学校運営協議会(上田さん)(蛭田さん)(嶋崎さん)	
5									
6									
7									
9	津野町を「鮎」で有名にしよう (30)	津野町を「鮎」で有名にしよう (30)	(1)こうち天然あゆ祭りに出展し、北川川の鮎に関する魅力をチラシや釣り体験、クイズを通して発信する。 (2)チームごとに取り組んだことを振り返り、出展で得た成果と課題、改善策を明らかにする。 (3)津野町産業祭に向けて、津野町に興味を持ってもらい、魅力を感じてもらうための手立てを考える。 (4)津野町産業祭に出展し、津野町のことや北川川の鮎に関する魅力をポスターやゲーム、鮎のバター醤油焼きの試食、顔はめパネルを通して発信する。	津野町の鮎を広めるために、北川川の鮎を知ってもらうための方法を調べたり、鮎を使った料理やゲームを開発し、発信したりする活動を通して、津野町の実態や課題、その改善に向けた工夫や努力を理解し、持続可能な地域の在り方について考えるとともに、自分と地域とのかかわりを考えながら生活し、地域の一員として進んで行動することができるようにする。	①北川川の鮎を生かした地域の活性化について、現状や理想との隔たりから課題を自らつくり、解決に向けて自分にできることを考えている。(課題の設定) ②津野町の魅力を高めるために必要な情報を、手段を選択して多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりしている。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関係付けたり、焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。(整理・分析) ④津野町の魅力を高め、広めるために自分たちにできることを考え、伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしたりしている。(自己理解・他者理解) ②津野町の魅力を高め、広めるための取組を考えたり実行したりする中で得た知識や友達の考え、地域の方々の考えを生かしながら友達と協働して探究活動に取り組もうとしている。(主体性・協働性) ③津野町の魅力を高め、広めるために自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとしている。(将来展望・社会参画)	【国】 ・インターネットの投稿を読み比べよう ・場面に応じた言葉づかい ・話し合ってみよう ・プレゼンテーションをしよう 【道】 ・礼儀作法と茶道 ・青い海を取りもどせ 【外】 ・What do you want to be? 【学級】 ・挨拶とマナー ・卒業式で自分の夢を伝えよう	・高知県水産業振興課(濱町さん) ・イベント担当(山砥さん) ・川上豊太郎さん 津野町役場 ・産業課(三本さん)(石元さん) ・教育委員会(三上さん)(鍋島さん) ・商工会(上田さん) ・フードセンター(今橋さん)	
10									
11									
12									
1	津野町の未来と自分	「鮎」のまち、津野町へ (13)	(1)自分たちの取組を振り返り、未来の津野町のためにできることを考え、課題を設定する。 (2)とさっこ放送局に参加し、これまで行ってきた津野町の魅力を発信する取り組みを紹介する。 (3)自分たちの取組を整理し、その効果や津野町を活性化させる方法を具体的に分析する。 (4)未来の津野町を活性化させるための取組を動画にまとめる。	津野町活性化のための活動を通して、津野町の実態や課題、その改善に向けた工夫や努力を理解し、地域を活性化させるために自分たちにできることを考えるとともに、自分と地域の関わりを考えながら生活したり、行動することができるようにする。	①小単元2の振り返りをもとに明らかになった情報を整理し結び付け、さらに未来の津野町を活性化させるためにどうすればよいか考え、課題を設定することができる。(課題の設定) ②津野町の行政の実態や取組を把握するために、手段を選択して多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりすることができる。(情報の収集) ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、解決に向けて考えることができる。(整理・分析) ④未来の津野町を活性化させるために自分たちにできることを考え、伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現することができる。(まとめ・表現)	①課題解決に向けた過程を通して、自分と地域の関わりを見直し、自分自身について理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしたりする。(自己理解・他者理解) ②行政の取組を調べたり、自分たちの取組を整理したりする中で、課題解決に向けて、友達と協働して探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性) ③未来の津野町を活性化させるために自分たちにできることを考え、問題解決のために、自分のこととして取り組もうとする。(将来展望・社会参画)	【国】 ・場面に応じた言葉づかい ・話し合ってみよう ・表現をくふうする ・成長を振り返って未来へ進もう 【道】 ・青い海を取りもどせ 【外】 ・What do you want to be? 【学級】 ・卒業式で自分の夢を伝えよう	・津野町役場 ・教育委員会 ・まちづくり推進課 ・産業課等	
2									
3									

第1学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な 学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)	
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向う力・ 人間性等			
年 間	津野町の魅力を伝えよう	津野町の魅力を伝える方法を考え、実行するための準備をする(30)	<p>(1) 小学校で探究してきた内容を振り返り、課題を設定する。</p> <p>(2) 津野町の魅力を調べたり、現地に行ってみたり聞いたりして情報を収集する。</p> <p>(3) 集めた情報を整理・分析し、より魅力が伝わる素材は何かを考えながら整理分析する。</p> <p>(4) これまでの学習を振り返り、動画などを見る人に伝わりやすいようにまとめる。</p>	<p>小学校の学習を振り返り、地域の魅力と課題は何かを考える活動を通して、地域の産業や文化等への理解を深め、より広い視野から地域の良さと課題について考えるとともに、地域活性化の在り方について考えることができる。</p>	<p>① 津野町の産業や文化等について理解している。(知識)</p> <p>② 津野町の産業や文化等の理解を深めるために、相手や目的に応じて、情報を適切に収集している。(技能)</p> <p>③ 津野町の魅力を伝えたいと思う気持ちは、これまでの学習で津野町の人々と関わり、産業や文化等を探究的に学んだことによる成果であると気付いている。(探究的な学習のよさの理解)</p>	<p>① 津野町の現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てることができている。(課題の設定)</p> <p>② 課題の解決に必要な津野町に関する情報を、目的や意図に応じて、手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積したりしている。(情報の収集)</p> <p>③ 収集した情報を整理・分析し、自分たちの提案や動画に取り入れる要素を考えることができている。(整理・分析)</p> <p>④ 整理・分析した情報を活用し、津野町の魅力をより効果的に伝える方法を考えることができている。(実践)</p> <p>⑤ 津野町の魅力や課題を伝えるために探究した内容を、目的や相手に応じて効果的な方法を選択し、まとめ、表現することができている。(まとめ・表現)</p>	<p>① 津野町の魅力を伝える方法に関心を持ち、課題解決に向けた探究活動に取り組みようとしている。(自己理解・他者理解)</p> <p>② 津野町の魅力を伝える方法を考えるために自分達にできることを考えるとともに、自分と違う他の意見や考えも受け入れて、参考にしようとしている。(主体性・協働性)</p> <p>③ 津野町の魅力を伝えるために自分たちにできることを考え、仲間と協働して、発信したり行動したりして地域の一員として貢献しようとしている。(将来展望・社会参画)</p>	<p><b>【国】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を聞き取り、要点を伝える</li> <li>・話の構成を工夫しよう</li> <li>・情報を整理して説明しよう</li> <li>・情報収集の達人になろう</li> <li>・根拠を明確にして書こう</li> <li>・話題や展開を捉えて話し合おう</li> </ul> <p><b>【数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの活用</li> </ul> <p><b>【美】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちを伝えるデザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津野町役場の人</li> <li>・地域の人</li> <li>・白龍湖</li> <li>・天狗高原</li> <li>・地域の祭り</li> <li>・小学生のときに収集・蓄積した津野町に関する情報</li> </ul>

10			<p>(1)「津野山古式神楽」と地域のつながりについて考え、課題を設定する。</p>	<p>東津野地域における、津野山古式神楽が継承されてきた地域の背景や人々の関わりについての調査を通して、津野山古式神楽を守ってきた人々の思いや願いを理解し、津野山古式神楽を支え、継承していく上での課題に広く目を向けるなどして、伝統を守り続けることの意義を考えるとともに、地域の伝統文化を守るために自分達にできることを考えられるようにする。</p>			<p>【国】 ・古典の世界</p> <p>【社】 ・原始・古代の日本と世界</p>	<p>・津野山古式神楽保存会 嶋崎さん ・東津野の婦人会 ・神楽奉納を参観に来ている人 ・地域の人</p>
11	私にとって、津野山古式神楽とは？	東津野の歴史「津野山古式神楽」を守る人々（20）	<p>(2)神楽保存会や、地域の人、2・3年生にインタビューしたり、神楽に必要な物作りの体験をしたりして情報収集を行う。</p>	<p>①津野山古式神楽を支え守っている人々の思いや願い、現状や課題について理解している。 (知識)</p> <p>②津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりなどの現状を捉えるために、体験やインタビューを通し、相手や目的に応じて、情報を収集している。 (技能)</p>	<p>①津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てることができている。 (課題の設定)</p> <p>②津野山古式神楽についての様々な情報から課題解決につながる情報を、目的や意図に応じて手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積したりすることができている。 (情報の収集)</p>	<p>①津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて関心を持ち、課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 (自己理解・他者理解)</p> <p>②津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、自分と違う他の意見や考えも受け入れ、協働して学び合おうとしている。 (主体性・協働性)</p>	<p>【家】 ・地域の食文化</p> <p>【音】 ・日本の民謡</p> <p>【美】 ・風神雷神、自然と人</p> <p>【英】 ・Active Grammar! You Can Do It!</p> <p>【道】 ・震災を乗り越えてー復活した郷土芸能ー ・「肝心」のパスガイド</p>	
12			<p>(3)インタビューや体験したことを整理分析し、津野山古式神楽とのつながりについて考える。</p> <p>(4)整理分析したことをまとめて、「津野山古式神楽」と地域のつながりについて考えたことを、相手意識をもって発表する。</p>	<p>③津野山古式神楽の歴史や演目の内容、保存会の思いを伝えていきたいと思う気持ちは、津野山古式神楽について探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解)</p>	<p>③津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、分かったことや継承してきた思いを整理分析し、考えることができている。 (整理・分析)</p> <p>④整理・分析した情報を神楽発表会の場で発表することができている。 (実践)</p> <p>⑤津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて自分の考えを、表現する目的や相手に応じて内容を構成するとともに適切な方法を選択し、論理的にまとめ表現することができている。 (まとめ・表現)</p>	<p>③津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりや思いを感じて自分たちにできることを考え、仲間と協働して、発信したり行動したりして伝統文化を大切に思うことができている。 (将来展望・社会参画)</p>		

第2学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な 学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向う力・ 人間性等		
年 間	未来の津野町プロジェクト くいつでも・いつまでも観光客がたくさん集まる町	津野町の魅力を活かしたイルミネーションで新田のにぎわいをとりもどそう！(40)	(1) 高橋さんからの提案をもとに、3年間を貫く探究課題に則した探究課題を設定する。	津野町活性化のために、新田地区の新たなイルミネーションのデザインを考える取組を通して、観光地としての津野町の魅力を理解し、津野町の魅力を活かしたイルミネーションの具体的なデザインを考えるとともに津野町により多くの観光客を呼ぶために仲間と協働し、地域の一員として行動できるようにする。	【国】 ・意見を聞き、整理して検討する ・情報を整理して伝えよう ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう ・表現を工夫して書こう ・敬語 ・適切な根拠を選んで書こう ・話し合いの流れを整理しよう ・立場を尊重して話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新田のにぎわいを取り戻す会</li> <li>・まちづくり推進課(高橋さん)</li> <li>・地域コーディネーター(市原さん)</li> <li>・地域おこし協力隊</li> <li>・新田商店街の人</li> </ul>		
			<p>(2) 新田地区に設置するイルミネーションを考えるために必要な情報を、インターネットを使ったり、実際に現地を調査したりして収集する。</p> <p>(3) 集めた情報を整理・分析し、グループごとに新田地区のイルミネーションのデザインや必要な道具などを考え、提案する。</p> <p>(4) 地域の方と協力して、新田地区にイルミネーションを設置する。</p> <p>(5) これまでの学習を振り返り、この先、探究的な学習を進める際に振り返りやすい形でまとめる。</p>	<p>①観光地としての津野町の魅力や課題について理解している。(知識)</p> <p>②イルミネーションの具体的なデザインを考えるために、目的に応じて、過去の探究内容を振り返ったり、先達からの助言要請などを適切に実施したりしている。(技能)</p> <p>③閑散期である冬の津野町にも多くの観光客を呼び、津野町の活性化に貢献したいと思う気持ちは、これまでの学習で津野町の人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付いている。(探究的な学習のよさの理解)</p>	<p>①津野町に集まる観光客についての現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てることができている。(課題の設定)</p> <p>②課題の解決に必要な様々な情報を、目的や意図に応じて、手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積したりしている。(情報の収集)</p> <p>③収集した情報を自分たちが見やすい形で整理・分析し、「わざわざ足を運びたくなるには」という視点を忘れずに、津野町の魅力を活かしたイルミネーションのデザインをすることができている。(整理・分析)</p> <p>④津野町の魅力を活かしたイルミネーションに必要な道具を購入したり、協力しながらイルミネーションを設置したりすることができている。(実践)</p> <p>⑤冬の津野町に観光客を呼ぶために探究した内容を、目的に応じて効果的な方法を選択し、まとめ、表現することができている。(まとめ・表現)</p>		<p>①観光地としての津野町の課題を解決するために、互いのよさを生かし自分の意思で目標をもって課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。(自己理解・他者理解)</p> <p>②冬の津野町により多くの観光客を呼ぶ方策について、自分と違う他の意見や考えも受け入れ、その意見のよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。(主体性・協働性)</p> <p>③冬の津野町により多くの観光客を呼ぶために、自分たちにできることを考え、仲間と協働して、発信したり行動したりして地域の一員として貢献しようとしている。(将来展望・社会参画)</p>	<p>【数】 ・データの分布と確率</p> <p>【理】 ・電流と回路</p> <p>【社】 ・日本の地域的特色 ・日本の諸地域</p> <p>【美】 ・気持ちを伝えるデザイン</p> <p>【道】 ・挨拶は言葉のスキンシップ ・小さな工場の大きな仕事 ・行動する建築家 坂茂</p>

10			<p>(1)「津野山古式神楽」と地域のつながりについて考え、課題を設定する。</p>	<p>東津野地域における、津野山古式神楽が継承されてきた地域の背景や人々の関わりについての調査をしたり、楽の練習をしたりして、津野山古式神楽を守ってきた人々の思いや願いを理解し、津野山古式神楽を支え、継承していく上で課題に広く目を向けるなどして、伝統を守り続けることの意義を考えるとともに、地域の伝統文化を守るために自分達にできることを考えられるようにする。</p>			<p>【国】 ・表現を工夫して書こう ・適切な根拠を選んで書こう</p>	<p>・津野山古式神楽保存会（楽・舞の指導） ・神楽奉納を参観に来ている人</p>
11	私にとって、津野山古式神楽とは？	東津野の歴史「津野山古式神楽」を受け継ぐ人々（30）	<p>(2) 楽の練習を通して、神楽保存会や地域の人の思いなどの情報を収集する。</p> <p>(3) 楽の練習を通して体験したことを整理分析し、津野山古式神楽とのつながりについて考える。</p>	<p>① 津野山古式神楽を支え守っている人々の思いや願い、現状や課題について理解している。（知識）</p> <p>② 津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりなどの現状を捉えるために、体験やインタビューを通し、相手や目的に応じて、情報を収集している。（技能）</p>	<p>① 津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てている。（課題の設定）</p> <p>② 津野山古式神楽についての様々な情報から課題解決につながる情報を、目的や意図に応じて手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積したりしている。（情報の収集）</p>	<p>① 津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて関心を持ち、課題解決に向けた探究活動に取り組むことができています。（自己理解・他者理解）</p> <p>② 津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、自分と違う他の意見や考えも受け入れ、協働して学び合うことができています。（主体性・協働性）</p>	<p>【社】 ・近世の日本 ・日本の諸地域</p> <p>【美】 ・ジャポニズム国境を越える美術</p> <p>【音】 ・雅楽「越天楽」</p> <p>【道】 ・和樹の夏祭り ・行く年、来る年 ・包む</p>	<p>・地域の人</p>
12			<p>(4) 考えたことや津野山古式神楽と自分とのつながりを感じながら、発表会で楽をたたく。</p> <p>(5) 探究したことをまとめて、「津野山古式神楽」と地域のつながりについて考えたことについて、まとめる。</p>	<p>③ 津野山古式神楽の歴史や演目の内容、保存会の思いを伝えていきたいと思う気持ちは、津野山古式神楽について探究的に学んだことによる成果であると気付いている。（探究的な学習のよさの理解）</p>	<p>③ 津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて、分かったことや継承してきた思いを整理分析し、考えている。（整理・分析）</p> <p>④ 津野山古式神楽の歴史や地域とのつながり、自分とのつながりを感じながら発表会で楽をたたくことができています。（実践）</p> <p>⑤ 津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりについて自分の考えを、表現する目的や相手に応じて内容を構成するとともに適切な方法を選択し、論理的にまとめ表現している。（まとめ・表現）</p>	<p>③ 津野山古式神楽の歴史や地域とのつながりや思いを感じて自分たちにできることを考え、仲間と協働して、発信したり行動したりして伝統文化を大切に思うことができています。（将来展望・社会参画）</p>		

実施時期	探究課題	単元名 (時数)	主な 学習活動	単元目標及び育成を目指す資質・能力			各教科との 関連	外部との 連携 (人・もの・こと)
				(1)知識及び技能	(2)思考力・判断力・ 表現力等	(3)学びに向う力・ 人間性等		
4	地域の環境問題	東津野の環境を守る人々〜ゴミ削減とリサイクルについて考えよう〜(30)	(1)昨年度、津野町の環境問題を解決するために、自分たちが実践してきたことを振り返り、そのために何をしていくかを考え、課題を設定する。	津野町の美しい環境を守るためにゴミをリサイクルする取組を実践し、発信することを通して、自分たちが当たり前だと感じている美しい環境は、地域の人々の支えで成り立っていることを理解し、津野町の美しい自然環境を守り未来に向けて少しでも現状を改善していく方策を考えるとともに、ふるさと津野町を愛する心を育み、ふるさとへの思いとこれからの生き方を自分の言葉で語れるようにする。			<b>【国】</b> ・説得力のある構成を考えよう ・相手や場に応じた言葉遣い ・論理の展開を意識して書こう ・論理の展開を整える ・話し合いを効果的に進めよう ・合意形成に向けて話し合おう  <b>【道】</b> ・使い手を驚かせて魅了する	・東津野地域の人 ・職場体験先の人 ・葉山中学校の生徒 ・須崎中学校の生徒 ・梶原中学校の生徒 ・高知新聞 ・役場広報担当の人
5			(2) 職場体験先や地域の事業所、近隣の中学校にエコキャップの回収を呼びかけるための計画を立て、そのために必要な情報を収集する。	①津野町の美しい環境や自分たちを支え守っている人々の思いや願い、現状や課題について理解している。 (知識)	①津野町の環境問題について、現状を把握し、課題に対する解決の方法や手順の見通しをもって計画を立てている。 (課題の設定)	①津野町の環境問題について関心をもち、ゴミの削減とリサイクルのために、互いのよさを生かし課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 (自己理解・他者理解)		
6			(3) 「知らない人が読んでも、自分たちの取組が分かること」と「協力してもらえないこと」という視点で、これまでの取組をチラシや文章に整理して、内容等修正する。	②津野町のゴミの削減とリサイクルに取り組むために、相手や目的に応じて、関係機関への協力要請などを適切に実施している。 (技能)	②課題の解決に必要な様々な情報を、目的や意図に応じて、手段を選択して収集したり、情報の種類に応じて蓄積したりしている。 (情報の収集)	②津野町のゴミの削減とリサイクルについて、自分と違う他の意見や考えを取り入れながら協働して学び合おうとしている。 (主体性・協働性)		
7・9			(4) 事業所や近隣の中学校を訪問し、エコキャップ回収の協力を呼びかける。また、新聞や町の広報誌に取組を掲載してもらい、広く周知する。集まったキャップを数え、取組開始から集まった数を確認する。	③きれいな津野町の未来につなげていきたいと思う気持ちは、地域の生活を支えている人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解)	③ゴミの削減とリサイクルに取り組むためにどうしたらいいか、情報収集したことをもとに、自分たちができることという視点で整理分析し、現状を改善していく方策を考えている。 (整理・分析)	③きれいな津野町の環境を未来につなげるために、自分たちができることを考え、仲間と協働して、発信したり行動したりして地域の一員として貢献しようとしている。 (将来展望・社会参画)		
9	地域の伝統文化「津野山古式神楽」を未来につな	私にとって、津野山古式神楽とは(30)	(1) 小学校から学習している「津野山古式神楽」に対する自分の思いの変容に気づくことができるような課題を設定する。	「津野山古式神楽」の舞の体験活動を通して、神楽伝承に関わる課題を理解し、「津野山古式神楽」を未来へ受け継いでいく方策を考えるとともに、自分の思いの変容を自分の言葉でまとめることができるようにする。			<b>【国】</b> ・場面に応じて話そう  <b>【社】</b> ・私たちと現代社会  <b>【音】</b> ・歌舞伎「勸進帳」  <b>【道】</b> ・父は能楽師 ・昔と今を結ぶ糸 ・「稲むらの火」	・津野山古式神楽保存会の人たち ・神楽学習会を参観した人たち
10			(2) 舞の練習を通して、舞の意味や保存会の人々の思い、地域の人の思い等を情報収集する。	①「津野山古式神楽」に関わる人々の思いや願い、現状や課題について理解している。 (知識)	①「津野山古式神楽」で自分が舞う演目を決め、その舞を表現する取組を通して課題に対する解決の方法や手順を見通しをもって考えることができる。 (課題の設定)	①「津野山古式神楽」で自分が舞う演目の練習を通して、その魅力に気づいたり、舞の表現力を高めたり、保存会の方々の教えや仲間の学び、意見などを受け入れ尊重しながら「津野山古式神楽」を伝承していくことに取り組もうとしている。 (自己理解・他者理解)		
			(3) 3年間分の津野山古式神楽発表会の感想を比較しながら、神楽に対する思いの変容を整理・分析する。	②「津野山古式神楽」の舞で、自分の思いや考え、願いを込めて表現するための探究の過程に応じた技能を身に付けている。 (技能)	②「津野山古式神楽」で自分が舞う演目の練習を通して、神話のストーリーや所作の意味、伝承してきた人々の思いなどの情報を収集し、適切な方法で蓄積するなど、自分たちが感じたことと重ねたり、調べたり、地域の人々や町外に住む人々の意見を聞いたりして必要な情報を取捨選択することができる。 (実践)	②「津野山古式神楽保存会」の方々を中心に、それに関わる様々な人々や仲間と協働し、進んで取り組もうとしている。 (主体性・協働性)		

11			る。 (4) これまで学習してきた中で、津野山古式神楽に対する自分の思いの変容を自分の言葉でまとめる。	探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解)	(情報の収集) ③「津野山古式神楽」の魅力を整理するとともに、これを伝承していくために自分ができることに視点を定めて多様な情報を分析することができている。(整理・分析) ④津野山古式神楽」の魅力を練習で積み重ねてきた舞で表現することができている。 (実践) ④「津野山古式神楽」が時代を越えて今も存在する意味や価値、様々な人々とのつながりなど、収集した情報と自分が感じたことをまとめることができている。 (まとめ・表現)	③津野山古式神楽で自分が舞う演目の表現や神社での神楽奉納を見学し、地域にとって必要なことと、自分たちにできることを考えることを通して、津野山古式神楽への思いの変容を自分の言葉でまとめることができる。 (将来展望・社会参画)		
12	地域の環境問題	自分の未来を描き、津野町を語る(10)	(1)津野町を自分の言葉で語るような課題を設定する。	9年間の探究的な学習を通して、津野町を大切に思う気持ちは、地域内外の様々な人と関わりながら探究的な学びを続けてきた成果であることを理解し、津野町の魅力を再度整理するとともに、津野町と自分をつなげて考え、自分の言葉で津野町を語るができるようにする。			【国】 ・論理の展開を整える ・場面に応じて話そう ・複数の意見を読んで、考えよう ・考えを効果的に伝えよう  【社】 ・私たちの生活と政治 ・私たちの暮らしと経済 ・地域社会と私たち  【美】 ・暮らしやすい街づくり  【道】 ・海のごみは「まちなか」で生まれる ・町内会デビュー ・塩むすび	・3年間の取組をまとめた掲示物 ・これまでの作成物 ・過去の新聞記事、広報誌 ・小学校、中学校での総合的な学習の時間の活動写真、動画等
1			(2) これまでの総合的な学習の時間で探究してきた内容(津野町の環境問題や改善のための取組、それに関わる方たちの思い等)を確認し、津野町を自分の言葉で語るために必要な情報を収集する。	①津野町の伝統文化や産業に関わる人々の思いや願い、現状や課題について理解している。 (知識) ②津野町に対する自分の思いや考えを、自分の言葉で語るための探究の過程に応じた技能を身に付けている。 (技能)	①課題に対する解決の方法や手順を、見通しをもって考えている。 (課題の設定) ②津野町の魅力に関する情報を改めて収集し、更に地域の人々の意見を聞いたりして津野町を自分の言葉で語るために必要な情報を収集、取捨選択している。 (情報の収集)	①これまでの総合的な学習の時間で関わってきた人々の思いや仲間の意見などを受け入れ尊重しながら自分を見つめ直し、学び合おうとしている。 (自己理解・他者理解) ②津野町の伝統文化や産業にかかわる様々な人々や仲間と協働し、進んで取り組もうとしている。 (主体性・協働性)		
2			(3)津野町の魅力を整理し、どのような内容で津野町を語りたいたのかを思考ツールを使って分析する。	③津野町のことを語り、津野町のこと好きだという気持ちは、伝統文化を伝承している人々や産業に関係する人々と関わり、探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 (探究的な学習のよさの理解)	③津野町の魅力を整理するとともに、津野町について自分の言葉で語るために必要な、多様な情報を分析している。 (整理・分析) ④津野町の魅力を自分の言葉で語るために、相手や状況に応じて自分の言葉で語る事ができている。 (実践)	③津野町について考える中で、地域にとって必要なことと自分たちにできることを考え、自分の生き方やふるさとのについて自分の言葉で語れる。 (将来展望・社会参画)		
3			(4) これまで津野町について探究し、整理・分析してきた内容を自分の言葉でまとめ、自分の言葉で津野町を語る。		⑤視点を明確にして、自分の生き方やふるさとのについて自分の言葉で語る事ができている。 (まとめ・表現)			